

第2学年通信

第4号

令和 2年 9月 30日



広島県立賀茂高等学校
Hiroshima Prefectural Kamo Senior High School

2週間という、短い夏休み。始業式。心の準備ができないままに始まった気がする2学期。始業式の頃は、まだ猛暑。9月に入ってから足早に季節は進み、ずいぶん秋めいてきました。もうすぐ10月。新型コロナウイルスに大きな影響を受けた今年度も、上半期が過ぎていきます。

1. 今できる精一杯の創意工夫で 熱い体育祭を実現できました

今年度は、9月17日(木)の体育祭が初めての学校行事となりました。体育科の先生方が、密を避ける競技をうまくプログラムにしてくださいました。紅白対抗から、学年対抗へと変更され、各学年の生徒が楽しく激しく各種目に全力を尽くしました。



15日(火)は、ルールや段取りを含めて、全員で色々な確認をしながら、全ての種目について、本番さながらの予行演習を行いました。晴天の下、久しぶりに全校生徒が揃って活動できる喜びが、しっかりと伝わってきました。

本番の日は、生憎の空模様でしたが、予行を軽々上回る熱気が感じられました。雨に降られる時間帯はあったものの、テキパキと進行し、何とか予定種目を無事に消化できました。

悪コンディションを巧みに活用し、2年生は、クラス対抗リレーでは、5組と7組が、見事ワンツーフィニッシュを決めました。

ただ、残念ながら、学年対抗では、2年生は、僅差ながら最下位に沈みました。この借りは、次の学校行事で、きちんと「倍返し」してもらいましょう。

2. 体育祭についての生徒の声 (スペースの関係等で一部表現を改めた部分があります)

- 今年はコロナ禍で密を避けるため、集団行動やマスゲームができなかった。満身に時間が取れない中、各クラスで工夫しながら練習に取り組んだ。本番では、雨が降る中で、全員が精一杯の力を出し切れた。このような状況でも、とても白熱して盛り上がった良い体育祭になった。(1組)



- 天候があやしい中、クラスみんなと楽しく協力できて良かった。自分が出る競技は全力を出せて、良い成績を残せた。コロナ禍で団体競技が無かったけれど、応援などで盛り上がり感激した。今年は学校でのイベントが少ないので、これからのイベントを大切にしたい。(2組)



- 私が何より伝えたいことは、この体育祭を実現させるために尽力して下さった全ての方への感謝だ。何度も議論を重ね、沢山の時間をかけた、本番を迎えることの有り難みを改めて感じた。今年は3年生の勝利だった。最後の行事にかかる思いや、後輩に見せる強い背中を体現されていたのが伝わってきた。ありがとうございました。(3組)
- 去年と比べて内容が変わって練習期間も短かったけど、体育祭のおかげでクラスが一致団結することができた。(3組)
- 今年は私にとって特別な体育祭になった。少ない練習時間のため工夫しようとしたがうまくいかず、それでも周りのみんなの協力で前に進めた。当日は、どの競技もみんなの心が一つになっていて感動した。体育祭実行委員を経験できて本当に良かった。最高の体育祭だった。(4組)
- 今年の体育祭はコロナ禍で少し不安だったが、楽しく行うことができた。各種目に出場している人はもちろん、応援している人も一生懸命で、自分もとてもやる気になったし、団結感があって良い雰囲気だと感じた。“クラス対抗リレー”と“クラスでジャンプ”で1位になって、とてもうれしかった。(5組)



- 今年は新しいことだらけで大変なことだらけだったが、本番ではクラス一丸になって体育祭を楽しめた。例年とは違うことの一つに学年の集団演技が無いということがあり、盛り上がり欠けるかもしれないと心配していたが、そんなことはなく全員が全力を出し切って学年の絆も深まった。(6組)

● 今年の体育祭は、生徒どうしが、より強くつながることができた。コロナ禍の体育祭ということだけでなく、各種目の練習が十分に行えなかったが、それぞれがベストを尽くし、そうしていくなかで自然と心が一つになっていくように思えた。雨の中の体育祭は大変だったが、思い出に残る体育祭になった。(7組)

3. 10月は中間考査 11月初めには模試も しっかり準備して受験しよう!

10月6日(火)
～9日(金)

中間考査 時間割はClassiで配信済みです

11月1日(日)
～2日(月)

学びの基礎診断(進研模試)
今回から全員5科目。理社が加わります。

